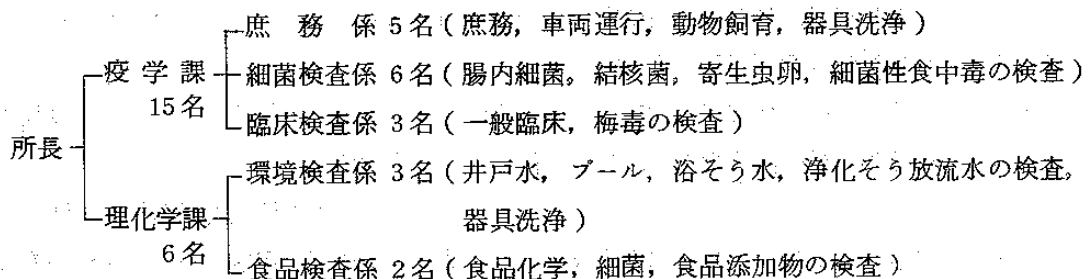


参 考 资 料

沿革

37・4 市内4保健所の試験室を統合し(一部臨床検査を除く)、衛生試験所として発足。施設は、新築の中央保健所合同庁舎の2階一部、面積200㎡。総数22名で、発足時の組織は下記のとおり



[6月:市煤煙防止条例制定]

38・4 総数24名(増員2名:臨床検査1名, 大気汚染検査1名)

39・4 水質汚濁検査を拡充(主要河川調査, 洗剤汚染調査等)

[8月:阿賀野川水銀中毒(第2水俣病)発生]

40・4 総数25名(増員1名:水質汚濁検査)

41・4 総数26名(増員1名:水質汚濁検査)

41・7 施設増改修(2, 3階の一部), 面積550㎡に増(2階 理化学, 3階 事務室, 疫学)

42・4 定数29名(増員3名:庶務1名, 食品検査1名, 水質検査1名)

[8月:公害対策基本法制定]

43・4 定数31名(増員2名:細菌検査)

[6月:大気汚染防止法制定, 5月:イタイイタイ病公害病認定, カネミ油症発生]

44・4 定数34名(増員3名:庶務1名, 食品検査1名, 水質検査1名)。ウイルス検査を開始

[牛乳のBHC汚染問題化, 11月:チクロ使用禁止]

45・4 定数36名(増員2名:臨床検査1名, 食品検査1名)。農薬検査開始

[12月:水質汚濁防止法制定]

46・4 定数39名。公害検査係を新設し, 環境検査係から大気, 水質汚濁検査を移管(2課6係)

[6月:悪臭防止法制定, 7月:環境庁発足]

47・4 公害検査課を新設。理化学課から公害検査係を分離, 当課所属とする(3課6係)。また, 庶務係を事務係に, 細菌検査係を微生物検査係にそれぞれ名称変更。定数41名(増員2名:食品検査)。施設的大幅増改修開始(3, 4階部分, 47~48年度継続事業)。製品検査(かん水, 色素製剤)開始

[3月:市公害防止条例制定, 4月:政令指定都市移行]

47・7 PCBの残留検査開始

[8月:食品中残留PCB暫定規制値制定]

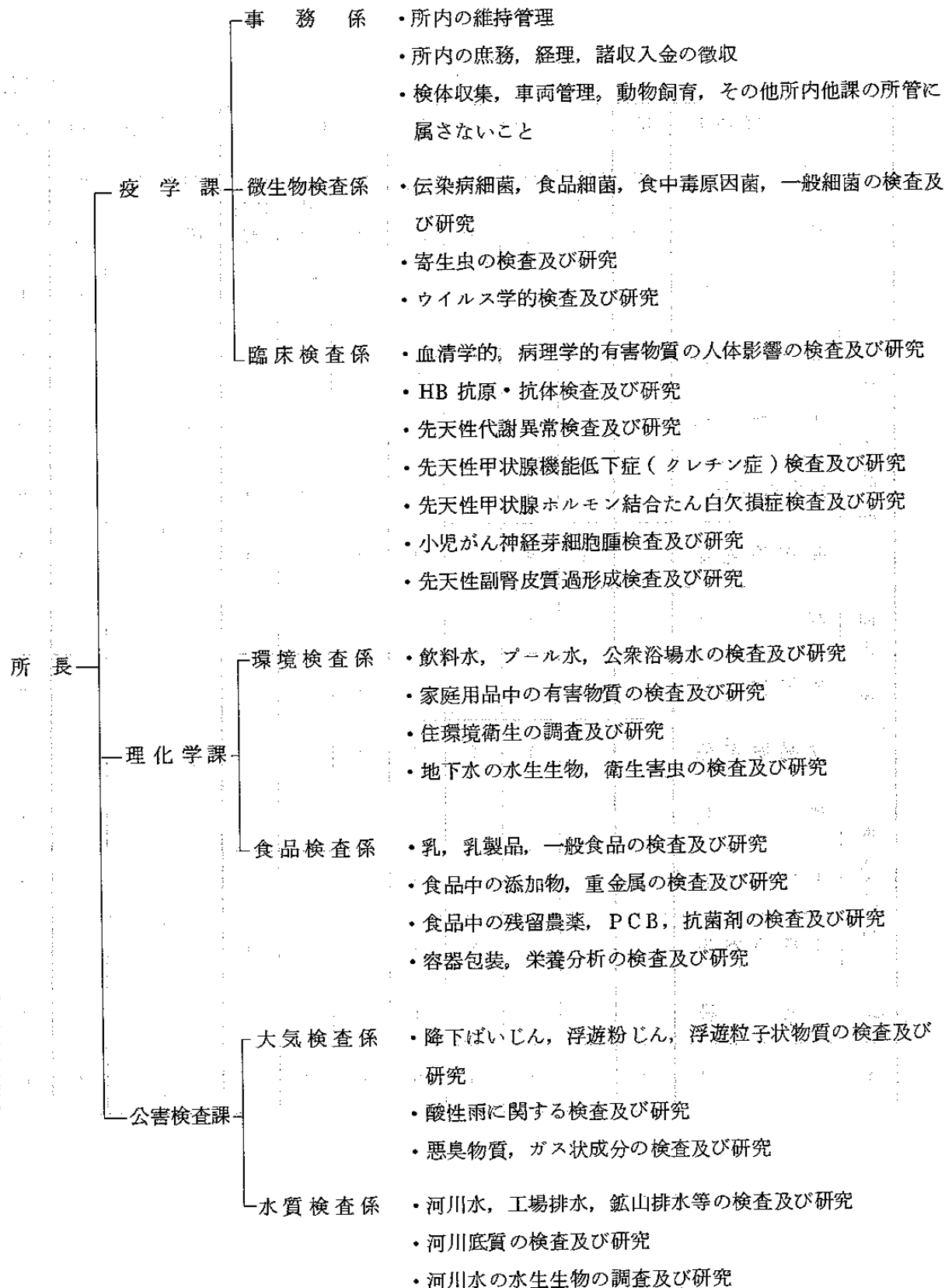
48・4 衛生研究所と改称。定数43名(増員2名:水質汚濁検査), 食品検査係の細菌検査を微生物検査係に移管

48・10 施設改修完了, 現在の規模となる。占有面積1,457㎡

[10月:家庭用品の規制に関する法律, 化学物質の規制に関する法律制定]

- 48・11 環境汚染健康影響の正常値に関する研究（内毛髪中重金属検査）実施（環境庁委託）
- 49・4 定数45名（増員2名：微生物1名，家庭用品1名）。環境検査係で家庭用品検査開始
- 50・4 公害検査係を大気検査係と水質検査係に分割（3課7係）。定数47名（増員2名：大気検査1名，水質汚濁検査1名）
- 50・7 全国環境測定分析統一精度管理調査に参加（初回）〔2月：PCB環境基準告示〕
- 51・6 化学物質環境調査実施（環境庁委託）
- 52・4 微生物・臨床検査室の改修（放射性免疫化学検査室の設置等75㎡）。微生物検査係の1名を臨床検査係へ配置替えし，先天性代謝異常検査開始〔7月：先天性代謝異常検査に関する厚生省通達〕
- 53・4 微生物検査係の3名を臨床検査係へ配置替えし，先天性甲状腺機能低下症検査開始。製品検査民間移譲
- 53・11 コレラ菌のサーベイランス開始（下水，その他）
- 54・7 地域環境調査実施（環境庁委託）〔7月：先天性甲状腺機能低下症に関する厚生省通達，12月：市コレラ防疫対策実施要領作成〕
- 55・6 先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査開始。〔10月：過酸化水素の食品残留禁止〕
- 55・12 昭和55年度地研全国研究「健康と飲料水中の無機成分に関する研究」に参加（初回）
- 56・4 小児がん神経芽細胞腫検査開始。大気中ホルマリン検査実施（環境庁委託）
- 56・6 感染症サーベイランス事業実施，河川水生生物調査開始
- 56・10 河川底質調査実施（環境庁委託）
- 57・5 先天性副腎皮質過形成検査開始
- 57・10 厚生科学研究「食品添加物の1日総摂取量調査に関する研究」に参加（初回）
- 57・10 非特定重大障害物質発生源等対策調査（スチレン）実施（環境庁委託）
- 57・10 Sストアー清田店の飲料水汚染による我が国最大規模の集団食中毒（患者数7,751）発生
- 57・12 電子顕微鏡室の新設（既設の原子吸光室等の移設と改修により新設）と電子顕微鏡の設置
- 58・4 市内排水路等環境調査（病原菌等サーベイランス事業）を開始（疫学課微生物検査係と公害検査課水質検査係の合同）
- 58・10 水質管理計画調査（地下水保全対策調査）実施（環境庁委託）
- 58・10 非特定重大障害物質発生源等対策調査（キンレン）実施（環境庁委託）
- 58・11 厚生科学研究「各都道府県における食品等に係る衛生化学検査の精度管理」に参加（初回）

組織と事務分掌



職員配置

59. 9. 1現在

職種別 課係別		医 師 職	技 術 職						事 務 職	業 務 職	技 能 職	合 計	
			獸 医 学	藥 学	理 学	工 学	農 学	水 産 学					臨 查 技 檢 師
所	長	1										1	
疫 学 課 (20)	課 長					1						1	
	事 務 係								4	1	1	6	
	微生物検査係			1	1		2	1	1			6	
	臨床検査係		1	3		1	1	1	1			8	
理 化 学 課 (13)	課 長			1								1	
	環境検査係				1	1	2			1		5	
	食品検査係			1	2	2	1	1				7	
公 害 檢 査 課 (11)	課 長						1					1	
	大気検査係				2		1			1		4	
	水質検査係				3	2			1			6	
課 長 職					1						1		
合 計		1	1	6	6	9	6	7	3	4	3	1	47

職員名簿

昭和59年9月1日現在

所	長	高杉信男	食品検査係長	白石由美子
疫学課	長	青木襄	技術職員	小塚信一郎
		(59.5.18 理化学課から)	"	西野茂幸
事務係長		菅原靖彦	"	山口敏幸
事務職員		有原昭三	"	立野英嗣
"		伊原吉憲	"	早川祥美
"		吉井千恵子	(59.4.1 経済局農務部農産課から)	
業務職員		新居剛	"	山口昭弘
技能職員		松下隆文	公害検査課長	市川修三
微生物検査係長		塚田正和	大気検査係長	水木徹生
医療技術専門員		横田秀幸	技術職員	坪井弘
医療技術専門員		白石圭四郎	"	鈴木寿一
技術職員		熊谷泰光	業務職員	山下智子
"		師尾寿子	水質検査係長	佐藤泰昌
(59.4.1 豊平保健所保健予防課から)			(59.1.1 臨床検査係から)	
"		吉田靖宏	技術職員	浦嶋幸雄
臨床検査係長		前田博之	"	赤石尚一
医療技術専門員		田口武	"	中嶋純夫
技術職員		辻慶子	"	小林毅
"		浅野みね子	"	鈴木欣哉
"		福士勝	課長職	田坂克明
"		荒井修		
"		水嶋好清		
"		花井潤師		
(59.1.18 食品検査係から)				
理化学課長		清水良夫		
(59.5.18 衛生管理部庶務課から)				
環境検査係長		浅井建爾		
技術職員		大谷倫子		
"		佐藤稔		
"		川村貢		
(59.4.1 豊平保健所衛生課から)				
業務職員		細倉道江		

転 出 者

59. 1. 1

水質検査係長

川 瀬 洋 三

公害部水質騒音課へ

59. 2. 29

副 参 事

林 英 夫

退 職

59. 4. 1

環境検査係

吉 田 俊 一

豊平保健所保健予防課へ

59. 4. 1

微生物検査係

山 口 温

豊平保健所衛生課へ

職員配置の年度別推移

年度	部課 長職	疫 学 課			理 化 学 課		公 害 検 査 課		総 数
		事 務 係	微 生 物 係 検 査 係	臨 床 検 査 係	環 境 検 査 係	食 品 検 査 係	大 気 検 査 係	水 質 検 査 係	
37	人 3	人 (庶務係) 5	人 (細菌 検査係) (うち兼5) 6	人 (うち兼2) 3	人 (うち兼1) 3	人 2	人	人	(定14) (兼8) 22
38	3	5	(兼5) 6	(兼2) 3	(兼1) 4	2			(定15) (兼8) 23
39	3	6	(兼5) 6	(兼2) 3	(兼1) 4	2			(定16) (兼8) 24
40	3	6	(兼5) 6	(兼2) 3	(兼1) 5	2			(定17) (兼8) 25
41	3	6	(兼5) 6	(兼2) 3	(兼1) 6	2			(定18) (兼8) 26
42	3	7	6	4	6	3			(定29) 29
43	3	8	7	4	7	3			(定32) 32
44	3	7	8	4	8	3			(定34) 33 (欠1)
45	3	7	8	5	8	4			(定36) 35 (欠1)
46	3	7	8	5	4	4		(公害 検査係) 7	(定39) 38 (欠1)
47	4	(事務係) 7	(微生物 検査係) 8	4	4	7		7	(定41) 41
48	4	7	8	4	4	7		10	(定43) (超1) 44
49	4	8	9	4	5	9		12	(定45) (超6) 51
50	4	7	9	4	5	9	4	(水質 検査係) 8	(定47) (超3) 50
51	4	8	9	3	4	9	4	8	(定47) (超2) 49
52	4	7	8	5	5	8	4	9	(定47) (超3) 50
53	4	7	5	8	5	8	4	8	(定47) (超2) 49
54	4	7	5	8	5	8	4	8	(定47) (超2) 49
55	5	6	5	8	5	7	4	7	(定47) 47
56	5	7	5	8	5	7	4	7	(定47) (超1) 48
57	5	6	6	8	5	7	4	7	(定47) (超1) 48
58	5	6	6	8	5	7	4	6	(定47) 47
59	5	6	6	8	5	7	4	6	(定47) 47

昭和 58 年度歳入歳出決算

(1) 歳 入

(単位 千円)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	備 考
使用料及び手数料	113,621	106,165	106,012	
衛生研究所使用料	113,612	106,155	106,002	
衛生研究所手数料	9	10	10	
国 庫 支 出 金	0	1,329	1,329	
衛生費委託金	0	1,329	1,329	環境大気調査費
諸 収 入	0	139	139	
雑 入	0	139	139	一般労務者保険料
歳 入 合 計	113,621	107,633	107,480	

(2) 歳 出 (科目別経常費内訳)

(単位 千円)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	備 考
職 員 手 当 ¹⁾	20,303	19,642	661	1) 特殊勤務手当
共 済 費	2,808	2,155	653	医師手当(月額) 25,000 円
賃 金 ²⁾	26,208	23,449	2,759	細菌検査, 試験検査手当 (月額) 230 円
報 償 費	1,134	1,017	117	放射性同位元素手当(月額) 150 円
旅 費	2,707	5,746	△ 3,039	現業員手当(月額) 4,000 円
需 用 費 ³⁾	83,584	77,014	6,570	2) 臨職賃金 (試験検査技術者)
役 務 費	2,453	4,590	△ 2,137	大学卒(月額) 5,000 円
委 託 料	1,629	2,016	△ 387	短大卒(月額) 4,340 円
使用料及び賃借料	275	1,198	△ 923	
備 品 購 入 費	6,083	8,650	△ 2,567	3) 需用費中 医薬材料費 55,956 千円
負担金補助金及び交付金	96	376	△ 280	
衛生研究所費合計	147,280	145,853	1,427	

(事業別経常費内訳)

(単位 千円)

事業名	予算現額	支出済額	同財源内訳		不用額
			特定	一般	
(1) 細菌検査	12,643	11,412	17,361	△ 5,949	1,231
(2) ウイルス検査	8,085	7,595	2,032	5,563	490
(3) 先天性代謝異常検査	10,318	10,129	0	10,129	189
(4) 先天性甲状腺機能低下症 (クレチン症)検査	12,567	11,094	0	11,094	1,473
(5) 先天性甲状腺ホルモン 結合たん白欠損症検査	8,961	7,614	0	7,614	1,347
(6) 臨床検査	8,773	5,791	2,605	3,186	2,982
(7) 小児がん 神経芽細胞腫検査	10,308	9,692	12,637	△ 2,945	616
(8) 先天性 副じん皮質過形成検査	7,016	9,524	0	9,524	△ 2,508
(疫学検査費計)	(78,671)	(72,851)	(34,635)	(38,216)	(5,820)
(1) 環境検査	10,418	9,856	12,521	△ 2,665	562
(2) 食品検査	14,229	14,394	11,807	2,587	△ 165
(3) 農薬検査	5,234	3,513	2,862	651	1,721
(理化学検査費計)	(29,881)	(27,763)	(27,190)	(573)	(2,118)
(1) 水質汚濁検査	17,839	15,649	33,915	△ 18,266	2,190
(2) 大気汚染検査	7,980	9,478	11,591	△ 2,473	△ 1,498
(公害検査費計)	(25,819)	(25,127)	(45,506)	(△20,379)	(692)
(維持管理費)	(12,909)	(20,112)	(149)	(19,963)	(△7,203)
衛生研究所費合計	147,280	145,853	107,480	38,373	1,427

※ 特定財源の内訳 - 使用料及び手数料, 国庫支出金, 諸収入

(3) 臨時事業費(整備費)

(単位 千円)

科目	予算現額	支出済額	内 訳
備品購入費	39,327	39,326	不揮発性有機化合物分析装置 6,000 重金属分析装置 7,600 悪臭分析装置 4,850 食品添加物分析装置 ほか 20,876

昭和 59 年度予算

(1) 歳 入

(単位 千円)

科 目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備 考
使用料及び手数料	132,723	113,621	△ 19,102	
衛生研究所使用料	132,710	113,612	△ 19,098	
衛生研究所手数料	13	9	4	
歳 入 合 計	132,723	113,621	△ 19,102	

(2) 歳 出(科目別経常費内訳)

(単位 千円)

科 目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備 考
職 員 手 当 ¹⁾	20,964	20,303	661	1) 特殊勤務手当
共 済 費	2,824	2,808	16	医師手当(月額) 25,000円
賃 金 ²⁾	26,674	26,208	466	細菌検査, 試験検査手当 (日額) 230円
報 償 費	1,134	1,134	0	放射性同位元素手当 (日額) 150円
旅 費	2,707	2,707	0	
需 用 費 ³⁾	86,031	83,584	2,447	現業員手当(月額) 4,000円
役 務 費	2,453	2,453	0	2) 臨職賃金
委 託 料	2,801	1,629	1,172	(試験検査技術者)
使用料及び賃借料	275	275	0	大学卒(日額) 5,000円
工 事 請 負 費	0	0	0	短大卒(日額) 4,340円
備 品 購 入 費	5,868	6,083	△ 215	3) 需用費中医薬材料費
負担金補助金及び交付金	106	96	10	69,939千円
衛生研究所費合計	151,837	147,280	4,557	

(事業別経常費内訳)

(単位 千円)

事業名	議決予算額	同財源内訳		事業の概要
		特定	一般	
(1)細菌検査	12,082	20,998	△ 8,916	伝染病細菌, 食品細菌, 食中毒原因及び一般細菌検査, 寄生虫検査及び研究
(2)ウイルス検査	9,233	2,067	7,166	ウイルス学的検査及び研究
(3)先天性代謝異常検査	10,191	0	10,191	先天性代謝異常検査及び研究
(4)先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)検査	12,595	0	12,595	先天性甲状腺機能低下症検査及び研究
(5)先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査	9,535	0	9,535	先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査及び研究
(6)臨床検査	8,777	2,776	6,001	血清学的検査, 病理学的検査, 有害物質の人体影響の検査, HB抗原・抗体検査及び研究
(7)小児がん神経芽細胞腫検査	10,288	13,760	△ 3,472	神経芽細胞腫検査及び研究
(8)先天性副じん皮質過形成検査	7,050	0	7,050	先天性副じん皮質過形成検査及び研究
(疫学検査費計)	(79,751)	(39,601)	(40,150)	
(1)環境検査	10,396	14,335	△ 3,939	飲料水, プール水, 浴場水, 家庭用品の検査及び研究
(2)食品検査	17,202	19,788	△ 2,586	食品中の添加物, 重金属の検査及び研究, 乳製品, 容器包装, 栄養分析の検査及び研究
(3)農薬検査	5,210	4,100	1,110	食品中の残留農薬, PCBの検査及び研究
(理化学検査費計)	(32,808)	(38,223)	(△ 5,415)	
(1)水質汚濁検査	18,333	43,859	△ 25,526	河川水, 工場排水, 河川底質の検査及び研究
(2)大気汚染検査	7,958	11,027	△ 3,069	降下じん, 浮遊じん, 有害ガス, じんあい中の重金属, 悪臭の検査及び研究
(公害検査費計)	(26,291)	(54,886)	(△ 28,595)	
(維持管理費)	(12,987)	(13)	(12,974)	所内の維持管理, 経理, 検体受付及び庶務
衛生研究所費合計	151,837	132,723	19,114	

※ 特定財源の内訳 - 使用料及び手数料

(3) 臨時事業費(整備費)

(単位 千円)

科目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備考
備品購入費	30,000	38,000	△ 8,000	機器整備

決算の年度別推移（発足時から59年度まで）

（単位：千円）

予算別 区分 年度	経 常 費					整 備 費（臨時事業費）			
	予算額	決算額	同 左 財 源		不用額	決算額	説 明	同 左 財 源	
			特 定	一 般				特 定	一 般
37	7,076	6,379	12,766	△ 6,387	697	2,479	(982)動物舎 (842)連絡車 (655)機 器	0	2,479
38	9,447	8,929	16,955	△ 8,026	518	2,207	機 器	0	2,207
39	9,792	9,792	18,887	△ 9,095	0	4,601	機 器	国 庫 支出金 360	4,241
40	11,123	11,033	20,799	△ 9,766	90	732	機 器	0	732
41	12,237	12,079	24,484	△12,405	158	6,724	(4,843) 2, 3階内部改 造(350㎡) (1,881) 実験台	0	6,724
42	14,065	14,065	23,716	△ 9,651	0	4,930	機 器	国 庫 支出金 353	4,577
43	15,495	14,809	22,870	△ 8,061	686	4,654	(4,164) 機 器 (490)無菌室改修	0	4,654
44	16,966	16,905	25,683	△ 8,778	61	5,056	(2,350) 機 器 (2,706) " " (公害対策費)	国 庫 支出金 572	4,484
45	18,120	18,120	27,051	△ 8,931	0	3,824	(650)連絡車(2300)機 器(874)機器 (公害対策費)	0	3,824
46	19,642	19,642	28,746	9,104	0	5,262	(2,618) 機 器 (2,644) " " (公害対策費)	0	5,262
47	36,864	36,862	45,927	△ 9,065	2	22,979	(22,000) 改築費 (2,995) 機 器 (公害対策費)	1,161	21,818
48	42,838	42,838	48,761	△ 5,923	0	30,261	(21,234) 改築費 (9,027) 機器他	国 庫 支出金 1,000	29,261
49	60,533	60,533	55,383	5,150	0	4,325	(4,325) 機 器	0	4,325
50	69,747	69,238	80,313	△11,075	509	0		0	0
51	81,267	80,161	86,965	△ 6,804	1,106	1,750	(1,750) 機 器	国 庫 支出金 875	875
52	84,911	84,142	74,351	9,791	769	12,680	(8,880) 機 器 (3,800) 改築費	国 庫 支出金 4,090	8,590
53	102,825	98,833	61,030	37,803	3,992	21,938	(16,956) 機 器 (4,982) 改築費	国 庫 支出金 1,905	20,033
54	110,765	107,035	53,544	53,491	3,730	12,446	(5,480) 機 器 (1,630) 連絡車 (5,336) 排水処理設備	国 庫 支出金 1,445	11,001
55	124,309	123,504	92,974	30,530	805	14,205	(14,205) 機 器	国 庫 支出金 3,000	11,205
56	135,167	135,128	112,230	22,898	39	17,443	(17,443) 機 器	国 庫 支出金 1,050	16,393
57	148,173	149,182	124,648	24,534	△1,009	84,100	(84,080) 機 器器	0	84,080
58	147,280	145,853	107,633	38,220	1,427	39,327	(39,326) 機 器	0	39,326
59年度	議決 151,837	-	132,723	19,114	-	30,000	30,000 機 器	11,000	19,000

主 要 備 品 (500千円以上)

昭和59年9月1日現在 (単位 千円)

機 器 名	購入年月	金 額	摘 要
ディープフリーザー	44 3	1,400	ULT-656
低温恒温器	46 12	647	プレハブ
ガスクロマトグラフ	47 8	1,985	日立073型
光電濃度計	49. 3	745	DMU-2
ガスクロマトグラフ	49 8	2,700	島津GC-4BM
水銀濃度計	50 2	505	HG-1型
直流ポーラログラフ	50 3	800	P ₈ -D型
排水処理装置	51 3	2,270	
超低温槽	51 5	1,460	
高速冷却遠心機	51 5	1,500	KP-180B
分光けい光光度計	51 8	1,750	RF-500
デジタルイオンメーター	52 5	653	オリオン801A型
シンチレーションカウンター	52 6	2,310	AUTOLOGIC101
パンチインディクサー	52 7	3,000	米国ファンダメンタルプロダック製
赤外分光光度計	52 9	2,730	日立295型
電子式上皿天秤	52 11	520	メトラPL1200型
シンチレーションカウンター	53 5	6,000	LKB型ラックガンマー1270-2型テレタイプライター付
RIA用遠心器	53 5	769	久保田製RS-9A型
分光光度計	53 6	510	島津UV-140-02
原子吸光分光光度計	53 6	5,600	日電バリアン製AA-175AB型
冷却遠心機	53 11	710	久保田KR-40
微分干渉顕微鏡	54 1	525	オリンパスBH透過型ノマルスキー式
二波長分光光度計	54 3	3,100	日立556型
トヨタクラウンバンデラックス	54 4	1,630	H-MS87V
冷却遠心機	54 9	2,590	200本架H-107RGS符号機

機 器 名	購入年月	金 額	摘 要
ガスクロマトグラフ	54 9	2,890	島津GC-7APEEFT
分光光度計	54 9	720	日立ダブルビーム100-50
パーソナルコンピューター	55 3	650	㈱ ソード電算機製M100ACEIV
電子分析天秤	55 5	700	ザルトリウス2001型
自動分注器	55 6	1,350	アロカAPS-33型
ハイボリュームエアサンプラー	55 7	546	柴田AH-600型
自動分注器	55 7	510	アロカPD-33
パンチインデクサー	55 7	3,800	パッカー社製PRIAS-P1型
高速液体クロマトグラフ	55 8	2,280	日立638-50特型
高速液体クロマトグラフポンプ	55 8	704	日立633A特型
波長可変流動光度計	55 8	800	日立634-0513
多波長UVモニター検出器	55 8	800	日立特型
分光けい光光度計	55 8	1,192	日立650-10LC特型
高圧蒸気滅菌器	55 9	560	NRKND-3特型
室内放射能濃度測定装置	55 12	3,443	アロカ社製ヨウ素モニター式, 共通部一式
排水モニター	56 2	3,969	アロカ社製液浸型水中放射能濃度測定用
臨床検査情報処理装置	56 3	3,845	サイエンス・ラボラトリー社FIT型
電子分析天秤	56 5	1,026	ザルトリウス社製2003型MPI
超高速冷却遠心器	56 5	1,685	久保田KP-600P
電子上皿卓上天秤	56 6	655	ザルトリウス社製1364M
超低温槽	56 6	2,485	フォーマ社製8118型
低温恒温室	56 6	568	サンヨープレハブMCU-100型
バイオハザードクリーンベンチ	56 7	2,080	日立SCV-1300EC
超音波洗浄器	56 7	515	UO-600FAUT50A型
ガスクロマトグラフ	56 9	2,097	島津GC-7AGPV, FID, ECD
分光光度計	56 9	615	日立100-20
血液蛋白分画装置	56 9	2,990	島津CS-920

機 器 名	購入年月	金 額	摘 要
自記分光光度計	56.11	2,498	島津UD-240型
高速液体クロマトグラフ	57.1	2,856	日立638-50特型
高速液体クロマトグラフポンプ	57.1	880	日立635-S特型
多波長UVモニター	57.1	800	日立635-0900特型
高感度分光けい光光度計	57.1	1,120	日立650-10LC特型
カテコールアミン用 分光けい光光度計	57.1	1,120	日立650-10LCS特型
パンチインデクサー	57.2	2,980	米国ファンダメンタルプロダック製7型
分光光度計	57.4	2,000	日立105-40型オートサンプラー含む
コンタミネーションモニター	57.5	620	ベルトールド社製LB1210B
微分干渉顕微鏡	57.6	1,359	オリンパスBHS323N型(透過型ノマルスキー式)全自動写真撮影装置ほか
EIA用自動測定装置	57.6	4,100	富士蔵器FP-1型
データ処理装置	57.6	1,740	NEC8001型
ポンプユニット	57.6	1,180	日立655型
UVモニター	57.6	700	日立638-0410型
スキャン光度計	57.6	1,230	日立200-018型
グラジエント装置	57.6	500	日立635-0420型
全自動試料調整装置	57.6	8,500	LKBWALLAC社製1290型
電子分析天秤	57.7	962	メトラ直示型AK160型
真空凍結乾燥器	57.8	795	アトモバック5000B
直示自動天秤	57.8	510	メトラH80
ガスクロマトグラフ	57.8	3,390	日立リン系農薬分析器163型ほか
硫黄分析計	57.8	2,820	理学電機工業製サルファーX3573A1
ガスクロマトグラフ	57.8	3,970	日立有機 ^{塩素} 系化合物分析器663-30型ほか _{磷素}
示差屈折検出器	57.9	1,175	昭和電工 SHODEXRISE-31 リフレッレンスバルブ付
炭酸ガス恒温培養器	57.12	2,850	フォーマ社モデル3326オートマチックCO ₂ コントローラー
透過式電子顕微鏡	57.12	30,100	日立H-800型
走査式電子顕微鏡	57.12	12,950	日立S-520型

機 器 名	購入年月	金 額	摘 要
超 遠 心 機	57.12	7,021	日立SCP70H型
超 ミ ク ロ ト ー ム	57.12	4,445	ポーターMT2B型
真 空 蒸 着 装 置	57.12	868	日立HUS-5GB型
臨 界 点 乾 燥 装 置	57.12	616	日立HCP-2型
細 菌 同 定 装 置	58.11	1,090	日本ID80P-Cコンピューター, プリンターほか
不揮発性有機化合物分析装置	58.12	6,000	ウォーターズ, AL C/G PC208Dコンパクトシステムほか
デジタルイオンメーター	58.12	1,200	オリオン901型
高速先天性代謝異常分析装置	58.12	12,000	協和精密K-202アミノ酸分析機ほか
血中ホルモン測定装置	58.12	1,800	日立655-15カラムヒーターほか
業 務 用 冷 蔵 庫	59.1	584	日立RL-683FR
業 務 用 冷 蔵 庫	59.1	611	日立RL-618SL2
食品添加物分析装置	59.2	2,400	島津UV-260型自記分光光度計ほか
電 気 ふ ら ん 器	59.2	1,140	カヤガキKF-160-D
悪 臭 分 析 装 置	59.3	4,850	日立663-30ガスクロマトグラフ (FID・FPD検出器)ほか
オートスポッター	59.3	1,700	西独デサカ社記録計付
重 金 属 分 析 装 置	59.3	7,600	日立偏光ゼーマン原子吸光光度計 Z-8000ほか
純 水 製 造 装 置	59.3	1,530	ミリポアR015オーガネックスタイプ
高周波プラズマ発光分光装置	59.7	15,410	日本ジャーレル・アッシュICAP- 575MARKIIほか
電 子 天 秤	59.7	700	メトラーAE-163-011型 (秤量記録装置付)
紫 外 検 出 器	59.8	560	日立638-41型波長可変UVモニター

過去5年間の調査研究等一覧（昭和54～58年度）

I 疫学関係（その1 微生物検査関係）

- 54年度
- 1979～1980年、札幌市におけるインフルエンザの流行について（熊谷他），所報第7号。
 - 小学校で発生した嘔吐下痢症について（熊谷他），所報第7号。
 - 札幌市の海外旅行者の腸管病原菌の検策成績（昭和53年8月～55年7月）（白石（圭）他），所報第7号。
- 56年度
- *Campylobacter jejuni* 菌による集団下痢症について（白石（圭）他），所報第9号。
 - 札幌市における過去10年間の食中毒事例（昭和47～56年）（山口（温）他），所報第9号。
 - 札幌市におけるインフルエンザの流行について（熊谷他），所報第9号。
 - 札幌市における風しんの流行について（熊谷他），所報第9号。
- 57年度
- 札幌市における下水中のNAGビブリオの検出状況について（白石（圭）他）。
 - 札幌市におけるSストア清田店に起因する集団食中毒について（高杉），病原微生物検出情報第34号。
- 58年度
- 大型スーパー食中毒事件，カンピロバクター菌・毒素原性大腸菌水系混合感染の概況について（白石（圭）他），感染症学雑誌 Vol. 57, No.10。
 - 大型スーパー食中毒事件環境調査におけるカンピロバクター菌の検出について（吉田（靖）他），感染症学雑誌 Vol. 57, No. 10。
 - 毒素原性大腸菌とカンピロバクターの水系混合感染による集団食中毒（白石（圭）他），食品衛生学雑誌第24巻，第5号。
 - *Campylobacter* と病原大腸菌の水系混合感染による集団食中毒について（吉田（靖）他），Medical Technology Vol. 11, No.12。
 - 大型スーパー食中毒事例について（林），食品と微生物 Vol. 1, No.1, 1984。
 - 札幌市におけるインフルエンザの流行について（熊谷他），所報第11号。
 - 札幌市における病原大腸菌の検出状況について（白石（圭）他），所報第11号。

疫学関係（その2 臨床検査関係）

- 54年度
- 札幌市における先天性代謝異常スクリーニングの概況（浅野他），所報第7号。
 - RIAキット（I-AB54等）によるクレチン症マス・スクリーニングの検討（荒井他），所報第7号。
 - クレチン症マス・スクリーニング用キット（SD-S 549），（福土他），所報第7号，基礎と臨床 Vol. 14, No.6。
 - Radioimmunoassayによる乾燥濾紙血液を用いたサイロキシン結合グロブリン測定法の検討，（福土他），所報第7号。
 - 札幌市におけるTSH， T_4 同時測定によるクレチン症マス・スクリーニングの検討（水嶋他），所報第7号，54年11月：第1回母子保健奨励賞を受く。
- 55年度
- 札幌市におけるB型肝炎ウイルスの疫学調査（田口他），所報第8号。
 - 札幌市における先天性代謝異常スクリーニングの概況（第2報）（浅野他），所報第8号。
 - 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法によるクレチン症マス・スクリーニングの検討（水嶋

他), 所報第8号。

- 56年度
- T_4 を指標とするクレチン症マス・スクリーニングにおける同一濾紙血液TBG測定の有効性の検討(医学のあゆみ, 119巻11号852~856, 1981)
 - ガスリー法による新生児のアミノ酸濃度測定と低出生児における代謝異常スクリーニングの採血時期の検討(浅野他), 所報第9号。
 - クレチン症マス・スクリーニングにおける低出生体重児の甲状腺ホルモン濃度(荒井他), 所報第9号, International Meeting on Neonatal Screening 1982。
 - 札幌市における神経芽細胞腫マス・スクリーニング(佐藤(泰)他), 所報第9号。
- 57年度
- サンドイッチ法RIAによるTSH測定クレチン症マス・スクリーニングの基礎的検討(水嶋他), ホルモンと臨床30.(5)461~465。
 - プロテインA法RIAによるTSH測定クレチン症マス・スクリーニングの検討(福士他), ホルモンと臨床30.(5)467~470。
 - TSH, T_4 両者測定による先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニングのための固相ラジオイムノアッセイによる T_4 測定法の検討(福士他), ホルモンと臨床30巻第8号。
 - 甲状腺ホルモンの酵素免疫測定法によるクレチン症マス・スクリーニングの検討(水嶋他), ホルモンと臨床31巻1号69~76, 1982。
 - 配位分配サンドイッチ法によるろ紙血液サイロキシン結合グロブリン測定法の検討(福士他), 医学と薬学9.(1)243~246。
 - TSH, T_4 測定によるクレチン症マス・スクリーニングのカットオフ値について(水嶋他), 第10回代謝異常スクリーニング研究。
 - 酵素免疫測定法による先天性副腎皮質過形成のマス・スクリーニング(福士他), 第10回代謝異常スクリーニング研究会, International Meeting on Neonatal Screening, 所報第10号。
 - 札幌市における先天性代謝異常スクリーニングの概況について(第3報)(浅野他), 所報第10号。
 - 神経芽細胞腫マス・スクリーニングにおける尿中VMA, HVA値の追跡について(佐藤(泰)他), 所報第10号。
 - 副腎皮質過形成診断のための高速液体クロマトグラフィーによる血中副腎皮質ホルモンの一斉分析法について(水嶋他), 所報第10号。
- 58年度
- サンドイッチ法を用いたクレチン症マス・スクリーニング用TSH-EIAキットの基礎的検討(福士他), 医学と薬学10.(2)489~494。
 - 尿ろ紙中VMA, HVA測定による神経芽細胞腫マス・スクリーニング—高速液体クロマトグラフィーをとり入れて—(佐藤(泰)他), 小児科24巻10号1133~1140, 1983。
 - 札幌市における神経芽細胞腫マス・スクリーニング(佐藤(泰)他), 小児がんNo.19, 111~113, 1983。
 - 札幌市における新生児マス・スクリーニングの実施状況について(水嶋他)。
 - 新生児の甲状腺機能の検討(福士他)。

- 血中副腎皮質ホルモンの高速液体クロマトグラフィーによる測定（水嶋他）。
- 先天性副腎皮質過形成のマス・スクリーニング（福士他）。
- 神経芽細胞腫マス・スクリーニングとその結果について（佐藤（泰）他）。
- 乳児尿中カテコールアミン関連物質測定による神経芽細胞腫マス・スクリーニング（佐藤（泰）他）。
- 神経芽細胞腫マス・スクリーニングにおける尿中VMA, HVAについて（花井他），所報第11号。
- 蛍光法による乾燥血液ろ紙中のアミノ酸測定について（浅野他），所報第11号。
- 新生児の甲状腺機能について（福士他），所報11号。

Ⅱ 理化学関係

- 54年度
- カドミウム-銅カラム法とイオンメーター法による飲料水中の硝酸性窒素定量法の比較検討（盛田他），所報第7号。
 - 羊毛防虫加工剤オイランU-33の含有量実態調査（大谷他），所報第7号）。
 - 畜産食品中の合成抗菌剤の残留に関する研究（第3報）クロビドールの市販鶏卵中の残留について（平田他），所報第7号。
 - 畜産食品中の合成抗菌剤の残留に関する研究（第4報）ニワトリにおけるクロビドールの消長について（大森他），所報第7号，食品衛生学雑誌Vol. 21, No. 2。
 - 食品中のスズ比色定量法の検討（第1報）ピロカテコールバイオレットによるスズ比色定量時のリンの妨害について（武口他），所報第7号。
 - なつみかん外皮中のカルバリル（NAC）定量法についての検討（中島），所報第7号。
 - 酵素法による食品中のL-グルタミン酸モノナトリウムの含有量調査について（白石（由）他），所報第7号。
- 55年度
- 飲料水のヒ素検査についてのジエチルジチオカルバミン酸銀法と還元気化原子吸光法との比較検討（浦嶋他），所報第8号。
 - 昭和55年度地研全国研究「健康と飲料水中の無機成分に関する研究」の調査結果（平野他），所報第8号。
 - 高速液体クロマトグラフィーによるかんきつ類中のジフェニル，オルトフェニルフェノールおよびチアベンダゾールの同時定量法について（山口（敏）他），所報第8号。
 - 高速液体クロマトグラフィーによる食品中のサッカリン・ソルビン酸および安息香酸の同時定量法について（西野他），所報第8号。
 - 食品中のスズ比色定量法の検討（第2報）（平田他），所報第8号。
 - 札幌市近郊の山菜の栄養成分および金属について（小塚他），所報第8号。
- 56年度
- 札幌市における一般住居の室内環境について（第1報）— 冬期間の実態調査成績 —（浦嶋他），所報第9号。
 - 羊毛防虫加工剤DTTBの含有量実態調査（大谷他），所報第9号。
 - 高速液体クロマトグラフィーによる食品中のビタミンAとビタミンEの同時定量について（吉田他），所報第9号。

- 食品中の天然着色料の分析について(花井他), 所報第9号。
- 57年度 ◦札幌市における地下水の概況について(第1報)(佐藤他), 所報第10号。
- 札幌市における一般住居の室内環境について(第2報) — 冬期間の温湿度分布 — (大谷他), 所報第11号。
- プロピレングリコールの1日摂取量について(小塚他), 所報第10号。
- 札幌市民の食品添加物1日摂取量について(白石他), 所報第10号。
- 58年度 ◦水中アンモニアのオルトフタルアルデヒドによるけい光定量について(佐藤(稔)他), 所報第11号。
- 札幌市における一般住居の室内環境について(第3報) — 季節変動 — (大谷他), 所報第11号。
- 札幌市における一般住居の室内環境について(第4報) — 冬期間における部屋別比較 — (浅井他)。
- 札幌市における学校給食中の無機質含有量について(西野他), 日本公衆衛生雑誌31巻1号43~47。
- 有機酸5項目の1日摂取量について(白石(由)他), 所報第11号。
- 食物消費パターン別にみた食品添加物と栄養素の1日摂取量の検討(立野他), 所報第11号。

Ⅲ 公害関係

- 54年度 ◦悪臭測定におけるアンモニア分析法の検討について(坪井他), 所報第7号。
- ジフェニル系化合物による水域環境汚染に関する調査研究(小塚他), 所報第7号。
- 滴定量と溶存酸素計によるBOD試験の比較検討(山下他), 所報第7号。
- 四塩化炭素抽出—赤外線分析法による油分の簡易定量法について(吉田(俊)他), 所報第7号。
- 札幌市河川水質の傾向及び季節変動について(鈴木(寿)他), 所報第7号。
- 原子吸光法による水質中のニッケルの分析法の検討(湯浅他), 所報第7号。
- 55年度 ◦道路たい積物中におけるタングステン分析法の検討(坪井他), 所報第8号。
- マイクロコンピューターによる水質検査データのファイル化について(山下他), 所報第8号。
- 札幌市内の河川等における水生生物相(第1報)—豊平川の底生動物—(大森他), 所報第8号。
- 札幌市における河川の水質変動について(鈴木(寿)他), 所報第8号。
- PCB分析時における妨害物質についての検討(中島他), 所報第8号。
- 総りん分析法の検討(湯浅他), 所報第8号。
- 「四塩化炭素抽出—赤外線分析法」による油分の簡易定量法について(第2報)(吉田(俊)他), 所報第8号。
- 56年度 ◦札幌市内3工場におけるトルエン発生源調査について(水木他), 所報第9号。
- 河川底質調査(第1報)—札幌市内河川底質中のLASについて—(大森他), 所報第8号。

9号。

◦河川底質調査(第2報)ー濃度相関マトリックス法による札幌市内の河川底質の検討ー(湯浅他), 所報第9号。

◦札幌市内の河川における水生生物相(第2報)ー豊平川の底生動物及び付着珪藻ー(中島他), 所報第9号。

◦札幌市内における河川の水質変動について(第2報)ー新川水系についてー(鈴木他), 所報第9号。

57年度 ◦札幌市内の河川における水生生物相(第3報)ー豊平川における付着珪藻植生の変化についてー(中島他), 所報第10号。

◦札幌市内の鋳物工場からのシアン化合物排出について(小林他), 所報第10号。

58年度 ◦メンブランフィルター法による河川水中ふん便性大腸菌群の検討(赤石他), 所報第11号。

◦市内排水路水質検査結果の解析(第1報)(中島他), 所報第11号。

◦河川水中の多環芳香族炭化水素の分析(鈴木(欣)他), 所報第11号。

○札幌市衛生研究所条例

(昭和37年3月31日)
(条例第12号)

(最終改正) 48年3月条例第10号(同時に題名も変更)

(設 置)

第1条 本市は、保健衛生に関する試験、検査、調査及び研究(以下「試験等」という。)を行ない、公衆衛生の向上を図るため、衛生研究所(以下「研究所」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
札幌市衛生研究所	札幌市中央区南9条西7丁目

(使用料及び手数料)

第3条 研究所において行なう業務又はその設備の使用については、この条例の定めるところにより使用料及び手数料(以下「使用料等」という。)を徴収する。

2 前項の使用料等の額は、健康保険法(大正11年法律第70号。以下「法」という。)の規定による療養に要する事業を行なう法人に請求すべき費用の額の8割以内において市長が定める。ただし、法に定めないものについては、法の規定による療養に要する費用の算定方法に準じて市長が定める。

(使用料等の納付)

第4条 使用料等は、設備の使用、試験等の依頼又は証明書の交付の際納めなければならない。

2 既に納めた料金若しくは試験等のため提出した物件は、これを還付しない。

(減免)

第5条 貧困又は災害等により、料金を納める資力がないと認める者その他特別の事由があると認められる者については、市長において、これを減免することができる。

2 生活保護法(昭和25年法律第144号)による保護を受ける者については、前項の規定にかかわらず特別の取扱いをすることができる。

(賠 償)

第6条 設備の使用者又は入所者が建物、設備及びその他の物件をきそんし、若しくは滅失したときは、市長の定めるところにより、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委 任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、昭和37年4月1日から施行する。

○札幌市衛生研究所条例施行規則

(昭和37年 3月31日)
規則第16号)

(最終改正)59年 3月規則第16号

(目 的)

第1条 この規則は、札幌市衛生研究所条例(昭和37年条例第12号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めることを目的とする。

(使用及び依頼の手続)

第2条 衛生研究所(以下「研究所」という。)の設備を使用又は保健衛生に関する試験、検査、調査及び研究(以下「試験等」という。)を依頼しようとする者は、次の各号に掲げる申込書を衛生研究所長(以下「所長」という。)に提出しなければならない。

(1) 研究所の設備の使用については、使用申込書(様式1)

(2) 試験等の依頼については、試験等申込書(様式2)

(使用料及び手数料)

第3条 条例第3条第2項の規定による使用料及び手数料(以下「使用料等」という。)の額は、別表に定めるもののほか、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(昭和33年厚生省告示第177号)別表第1診療報酬点数表(甲)により算定した額の8割相当額とする。

(使用料等の納入時期)

第4条 使用料等は、次の各号の一に該当する場合のほか、設備の使用、試験等の依頼、証明書の交付等のつど直ちに納めなければならない。

(1) 試験等の結果が判明しなければ、料金を算出し難いとき

(2) その他市長が特別な事由があると認めるとき

(減免の手続)

第5条 条例第5条の規定により、使用料等の減免を受けようとする者は、減免申請書(様式3)を市長に提出しなければならない。

2 災害のため、使用料の減免を受けようとする者は、前項の規定による減免申請書にその事実を証明する文書を添えなければならない。

3 市長は、第1項に規定する減免申請書を受理したときは、その内容を審査し結果を通知するものとする。

(成績書等の交付)

第6条 所長は、試験等の結果が判明したときは成績書、検査書等を交付する。

2 成績書等の様式は、別に定める。

附 則

1 この規則は、昭和37年4月1日から施行する。

別表

種 別		単 位	料 金	摘 要		
疫 学 試 験 検 査	食 検 品 細 菌 査	一 般 生 菌 数	1 項 目	2,600 円		
		大 腸 菌 群	1 項 目	2,600 円		
		各 種 細 菌 検 査	1 項 目	3,900 円		
	ウ 検 イ ル ス 査	中 和 試 験 組 織	1 項 目	10,000 円		
		分 離 培 養 検 査	動 物	1 検 体	8,500 円	
			組 織	1 検 体	11,100 円	
特 殊 臨 床 検 査	神 經 芽 細 胞 腫 ス ク リ ー ニ ン グ	1 検 体	800 円			
理 化 学 試 験 検 査	水 質 検 査	飲 料 水	化 学 検 査 普 通 法	1 検 体	3,000 円	
			化 学 検 査 精 密 法	1 検 体	55,000 円	
		細 菌 検 査	1 検 体	1,500 円		
		プ ー ル 水	化 学 検 査	1 検 体	2,500 円	
			細 菌 検 査	1 検 体	1,500 円	
		浴 場 水	化 学 検 査	1 検 体	1,500 円	
	細 菌 検 査		1 検 体	1,000 円		
	簡 易 物 理 検 査	1 項 目	1,000 円			
	化 学 検 査	簡 易 な も の	簡 易 な も の	1 項 目	1,500 円	
			やや 複 雑 な も の	1 項 目	3,000 円	
			複 雑 な も の	1 項 目	5,000 円	
		低 沸 点 有 機 化 合 物	1 検 体	20,000 円	4 項 目 まで、5 項 目 からは 1 項 目 増 す ごと に 4,000 円 を 加 算 す る。	
	生 物 同 定 検 査	1 検 体	1,000 円			
	家 庭 用 品 検 査	容 器 又 は 被 包	漏 水 試 験	1 項 目	1,000 円	
			落 下 試 験	1 項 目	1,000 円	
耐 酸 性 試 験			1 項 目	1,000 円		
耐 ア ル カ リ 性 試 験			1 項 目	1,000 円		
圧 縮 変 形 試 験			1 項 目	1,000 円		
塩 化 水 素 又 は 硫 酸		1 項 目	1,500 円			

種 別		単 位	料 金	摘 要		
理 化 学 試 験 品 査	家 庭 用 品 検 査	水酸化ナトリウム又は 水酸化カリウム	1項目	1,500円		
		ホルムアルデヒド	1項目	5,000円		
		塩化ビニル	1項目	7,000円		
		有機水銀化合物	1項目	8,000円		
		メタノール	1項目	8,000円		
		トリクロロエチレン及び テトラクロロエチレン	1検体	20,000円		
		ディルドリン	1項目	25,000円		
		D T T B	1項目	25,000円		
		ビス(2+3-ジブromプロピル) ホスフェイト化合物	1項目	25,000円		
		T D B P P	1項目	25,000円		
		A P O	1項目	25,000円		
食 品 及 び 容 器 包 装 品 査	牛 乳 製 品 清 涼 飲 料 水 器 具 及 び 容 器 包 装 品 査	化学検査	1検体	5,000円		
		無脂乳固形分	1項目	5,000円		
			乳脂肪分	1項目	5,000円	
		化学検査	1検体	32,000円		
		蒸発残留物	1項目	2,000円		
			過マンガン酸カリウム 消費量	1項目	2,000円	
		重金属硫化物試験	1項目	2,000円		
		モノマー (揮発性物質)	1項目	15,000円		
		ホルムアルデヒド	1項目	5,000円		
		フェノール	1項目	1,000円		
		クレゾールリン酸 エステル	1項目	10,000円		
		ジブチルスズ化合物	1項目	5,000円		
		重金属定量試験	1項目	8,000円		
		合成甘味料	定性	1項目	4,000円	
			定量	1項目	8,000円	
		合成着色料定性試験	1項目	5,000円	1色につき。	

種 別		単 位	料 金	摘 要		
理 化 学 試 験 検 査	食 品	天然着色料定性試験	1項目	7,000円	1色につき。	
		プロピレングリコール 定 量 試 験	1項目	8,000円		
		合成保存量	定 性	1項目	4,000円	
			定 量	1項目	6,000円	
		発色剤	定 性	1項目	3,000円	
			定 量	1項目	6,000円	
		発酵調整剤定量試験	1項目	8,000円		
		漂白剤	定 性	1項目	3,000円	
			定 量	1項目	6,000円	
		臭素酸カリウム定量試験	1項目	8,000円		
	縮合リン酸定量試験	1項目	8,000円			
	酸化防止剤定量試験	1項目	8,000円			
	重金属定量試験	1項目	8,000円			
	シアン定量試験	1項目	6,000円			
	検	油 定 量 試 験	酸 化	1項目	4,000円	
			過 酸 化 物 価	1項目	4,000円	
			カルボニール価	1項目	4,000円	
			チオバルビツール酸価	1項目	4,000円	
	糖 度 試 験	1項目	1,000円			
	缶, ビン 圧 試 験	1検体	1,000円			
添加物規格試験	1検体	15,000円	ただし, 重金属定量試験のあるものは除く。			
異物試験	浮上法又は沈降法	1検体	8,000円			
	直接検鏡	1検体	2,000円			
蛍光染料簡易定性試験	1項目	2,000円				
水素イオン濃度測定試験	1項目	1,000円				
陰イオン界面活性剤 定量試験(容器)	1項目	6,000円				
メタノール定量試験	1項目	8,000円				

種 別		単 位	料 金	摘 要		
理 化 学 試 験	食 品 検 査	揮発性塩基窒素定量試験	1項目	5,000円		
		ヒスタミン定量試験	1項目	10,000円		
		栄 養 分 析	灰 分	1項目	5,000円	
			水 分	1項目	2,000円	
			粗 た ん 白	1項目	5,000円	
			粗 脂 肪	1項目	5,000円	
			粗 繊 維	1項目	6,000円	
			で ん 粉	1項目	6,000円	
			ビ タ ミ ン B1	1項目	10,000円	
			ビ タ ミ ン B2	1項目	10,000円	
			ビ タ ミ ン C	1項目	10,000円	
			ビ タ ミ ン A	1項目	15,000円	
			ビ タ ミ ン D	1項目	15,000円	
			ビ タ ミ ン E (α 型 の み)	1項目	15,000円	
	水分活性試験	1項目	5,000円			
	合成抗菌剤定量試験	1項目	15,000円			
	農 薬 検 査	残 留 量 農 薬 検	塩 素 系	1検体	30,000円	3項目まで、4項目からは1項目増すごとに6,000円を加算する。
			リ ン 系	1検体	30,000円	3項目まで、4項目からは1項目増すごとに6,000円を加算する。
			カルバメート系	1項目	15,000円	
		P C B 定 量 試 験	食 品	1検体	40,000円	
包 装 紙			1検体	15,000円		
フタル酸 エステル		容 器 包 装 中	1検体	15,000円		
有機水銀定量試験		1項目	15,000円			
有機スズ定量試験		1項目	15,000円			
残留塩素定量試験		1項目	15,000円			
重 金 属 定 量 試 験		1項目	8,000円			
	簡 易 物 理 検 査	1項目	700円			

種 別		単 位	料 金	摘 要		
公 害 試 験 検 査	一定 般量 化試 学験	簡易なもの	1項目	2,000円		
		やや複雑なもの	1項目	3,500円		
		複雑なもの	1項目	4,800円		
	水 質 汚 濁	金属定量試験		1項目	4,500円	
		有機水銀定量試験		1検体	20,000円	
		有機水銀確認試験		1検体	25,000円	
		有機リン定量試験		1検体	20,000円	3項目まで、4項目からは1項目 増すごとに4,000円を加算する。
		有機塩素定量試験		1検体	30,000円	3項目まで、4項目からは1項目 増すごとに5,000円を加算する。
		生物化学的酸素要求量 測定試験		1検体	6,500円	
		細菌検査	菌数	1項目	2,200円	
			最確数	1項目	3,500円	
		有害化学 物質定量 試験	抽出法のやや 複雑なもの	1項目	35,000円	
			抽出法の複雑 なもの	1項目	38,000円	
	土 壤 ・ 底 質	簡易なもの		1項目	3,000円	
		やや複雑なもの		1項目	6,000円	
		複雑なもの		1項目	8,000円	
		特殊なもの		1項目	18,000円	
		有害化学物質定量 試験		1項目	38,000円	
	大 気 汚 染 検 査	降下ばい じん測定 試験	不溶性成分	1検体	6,000円	
			溶解性成分	1検体	11,000円	
いおう酸化物定量試験		1検体	3,000円			
簡易物理検査		1項目	1,000円			
一般化学 定量試験		簡易なもの	1項目	2,000円		
		複雑なもの	1項目	4,000円		
浮ん 遊粉 し験		濃度測 定	一般ろ紙法	1項目	2,000円	
			特殊ろ紙法	1項目	5,000円	
		金属定量試験		1項目	6,000円	

種 別		単 位	料 金	摘 要		
公害試験検査	大気汚染検査	浮遊粉じ試験 特殊成分	簡易なもの	1項目	5,000円	
			複雑なもの	1項目	17,000円	
		ガス状成分分析	簡易なもの	1項目	5,000円	
			複雑なもの	1項目	10,000円	
		重油中いおう分測定	1検体	3,500円		
	悪臭分析試験	アンモニア 定量試験	環境測定	1項目	15,000円	
			発生源測定	1項目	10,000円	
		ガス 特殊悪臭 定量試験	環境測定	1項目	17,000円	
			発生源測定	1項目	17,000円	
	その他	設備等使用料		1回	実費相当額	
自動記録計用液 調製手数料		吸収液	10ℓ	1,500円		
		等価液	1標準物質	4,000円		
証明手数料		一般	1件	300円		
	複雑なもの	1件	400円			

備考

- 1 保健対策上特に必要があるときは、この表の料金によらないことができる。
- 2 この表に記載していない使用料等は、他の類似する種目に対応する使用料等に準じて徴収する。

様式 1 (B 5 判)

衛生研究所使用申込書

年 月 日

札幌市衛生研究所長 殿

住 所
職 業
氏 名 ㊟

札幌市衛生研究所を下記のとおり使用したいので、許可願います。

記

1 試 験 室
2 試 験 事 項
3 使 用 期 間

なお、許可のうえは、諸規則をよく守り、係員の指示に従って使用し、決して迷惑はかけません。

様式 2 (B 5 判)

試 験 等 申 込 書

年 月 日

札幌市衛生研究所長 殿

住 所
氏 名 (法人にあってはその名称及び代表者氏名) ㊟

札幌市衛生研究所条例第 3 条により、下記の試験を依頼したいので、料金
円を添えて申込みます。

試 験 品 名	
試 験 目 的	
摘 要	

備考 試験の性質上この様式によりがたいときは別に定める。

様式3 (B 5判)

札幌市衛生研究所使用料(手数料)減免申請書	
年 月 日	
札幌市長 殿	
住所	
氏名 ㊟	
下記の事由により、札幌市衛生研究所条例第5条による減額(免除)をして くださるよう申請します。	
事 由	
減 免 事 項	

最近の規則の改正

昭和55年12月19日施行

別表から「HBs抗原検査(RIA法)」と「HBs抗体検査(RIA法)」を削除した。

昭和56年2月25日施行

別表に「神経芽細胞腫スクリーニング」を追加した。

昭和56年9月21日施行

(1) 第5条第3項の「減免許可書の交付」を「通知」に改め、様式4(減免許可書)を削除した。

(2) 別表から「ふん便検査(虫卵検査)直接塗まつ法」を削除した。

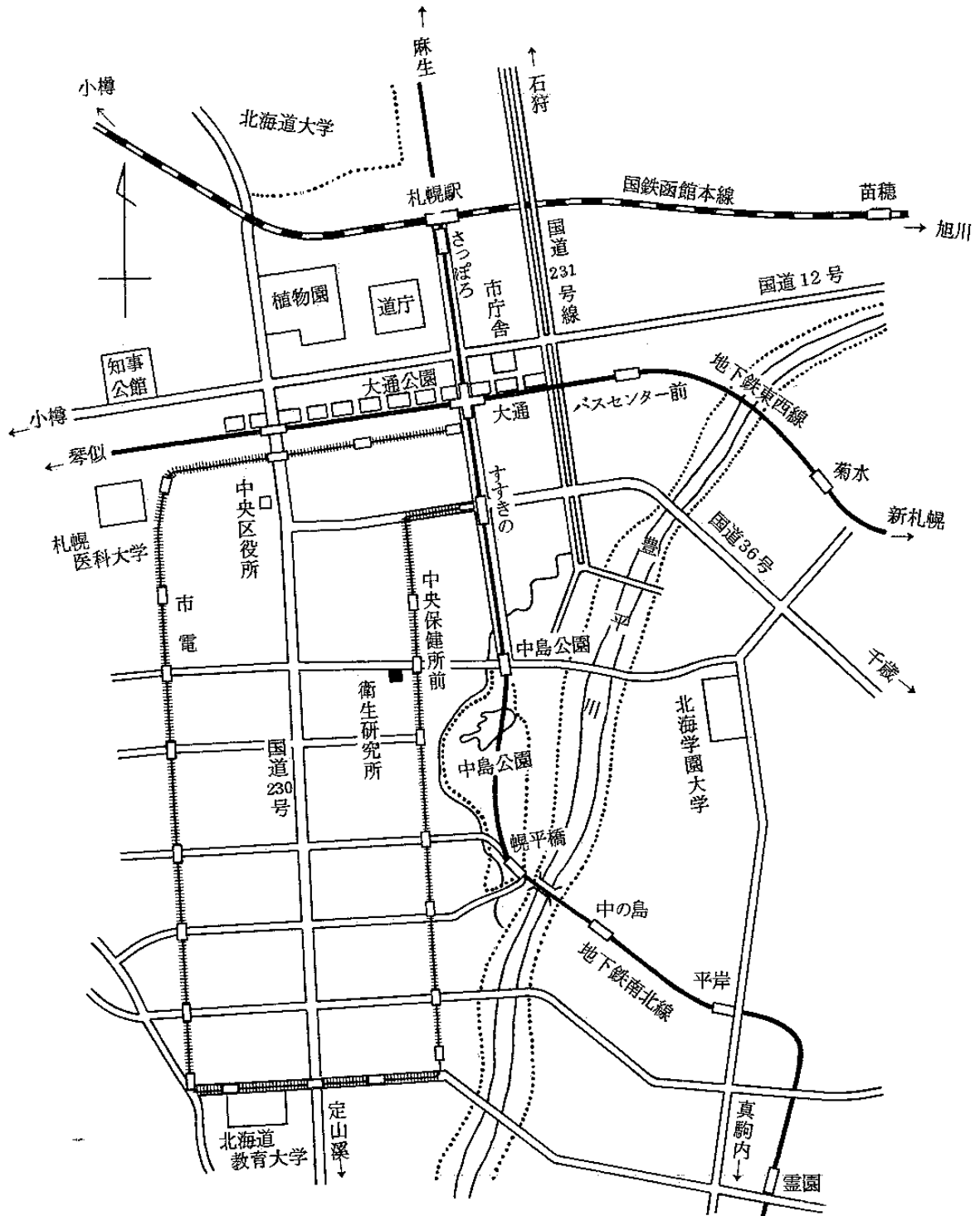
昭和58年4月1日施行

別表中の神経芽細胞腫スクリーニングの料金を「1,200円」から「800円」に改めた。

昭和59年4月1日施行

現行別表に対し大幅改定を行った。

(改定58項目、新設49項目、廃止18項目)



所報編集委員

委員長	市川修三
委員	菅原靖彦
	塚田正和
	前田博之
	浅井建爾
	白石由美子
	水木徹生
	佐藤泰昌

札幌市衛生研究所年報（第11号）

昭和 58 年度
 発行 昭和 59 年 12 月 26 日
 印刷 昭和 59 年 12 月 25 日

編集兼発行 064 札幌市中央区南 9 条西 7 丁目
 札幌市衛生研究所
 TEL (011) 511-7221 (代)
 印刷所 札幌市豊平区豊平 8 条 8 丁目
 北邦印刷
 TEL (011) 821-9310